

巻頭言

東北支部長 金沢勉

2023年度より日本放射線技術学会東北支部の支部長を拝命いたしました，新潟大学医歯学総合病院の金沢勉です．会員の皆様のご協力を頂きながら滞りなく事業を継続していけるように尽力して参りますので，どうぞよろしくお願ひします．

2023年5月に，ようやく新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され，3年ぶりに制限のない環境となりました．この間，支部事業を滞らせる大きな影響を受けましたが，Webinar という新たなツールを得て新しい形態のセミナーを開催することができるようになりました．今後はこのツールをさらに利用して多くの会員の皆様に情報が届けられるように運営して参ります．

今年度の東北支部の学会は，山形市にて第13回東北放射線医療技術学術大会としてハイブリッド方式で盛大に開催がされました．現地参加で520人，web参加で90人，合わせて600人を超える参加者があり，ハイブリット形式の魅力を十分に発揮できた学会でした．佐藤大会長，鈴木実行委員長をはじめ実行委員の皆様の多大なる努力で，アフターコロナの新しい形の学会を示して頂けたと思います．来年度は，2024年10月5日（土）から6日（日）まで秋田市で行われます．現在，照井大会長，加藤実行委員長をはじめ実行委員会の皆様が，多彩な企画を考えておられます．是非，現地に来て日頃の学術成果の発表や情報交換の場にして頂ければと思います．

われわれの東北支部は、現在、1,800 人程の会員を有しておりますが、診療放射線技師、研究者、企業、学生など多岐に渡るバックグラウンドを持つ会員で構成されています。この多様性こそが、新しいアイデアやアプローチの方法を生み出す原動力であり成長の源だと考えます。放射線技術の分野は急速に進歩をしております。私たちの使命は、これらの変化に適応し同時に新たな展望を切り拓くことだと思います。その為には、最新の知識を身につけ専門性を高めることが重要です。東北支部として、継続的な学びの機会や情報交換の場を会員に提供していくことは大変重要な役割と考えております。是非、身近な東北支部の事業を活用して、情報を収集していただければと思います。